

景観チェックシート

(第1面)

記載例

(建築物)

※ 配慮した事項にレ点を入れ、その内容を記入してください。

項 目		配慮事項	配慮した内容	
外部空間	エントランス	■ 開放的な空間とし、できるだけ植栽やモニュメントなどを設置し、ゆとりと潤いを創りだす。	開放的な空間とし、植栽や休憩スペースを設けた。	
	駐車場 サービスヤード	■ 周囲に生け垣、腰壁等を設置するなど通り沿いの快適さを保つ。 □ 立体駐車場は建築物と一体的なデザインとし、街並みに調和させる。	駐車場の周囲には生け垣を配し、通りからの見え方に配慮した。	
	敷地の境界部	■ 塀、柵などは、生け垣や透視性の高い素材を使う。 ■ シンボルツリー、草花、水面などの季節感を表す緑化修景を行う。	境界部に広葉樹をシンボルツリーとして計画し、季節感を表す修景を行う。	
	前面空地	■ 壁面後退をできるだけ行い、通りと一体となる開放的な空間を創り、特に建物の低層部分は街並みに応じたデザインで工夫する。	壁面後退を行い、舗装を外部空間と揃えることで、通りと一体となる開放的な空間構成とした。	
建築物	建築要素	屋根	■ 周辺に調和する形状、材質、色などを選択し、彩度(3以下)を抑え落ち着いたものとする。	屋根形状は、周辺に調和する角度とし、彩度を3以下に抑えた色彩を採用した。
		外壁	■ 周辺の街並みに応じたデザインとし、色調についても、周辺になじむよう彩度(3以下)を抑えた色とする。	壁面は彩度3以下の色を基調とし、単調にならないよう強調色を用い表情を持たせた。
		外階段	■ 建築物本体との一体感や調和を考慮したデザインとする。	建築本体の基調色と同色とし、一体感を持たせた。
		窓・バルコニー	■ 手すりやルーバーなどは不透明や半透明のものとするなど、建築設備類や洗濯物などを通りから直接見えにくくする。	手すりは不透明なものを用い、外部から各戸の設備類を見えにくくした。
		建築設備類	■ 設備類は建築物本体に組み込むデザインを行い、また地上に設置する場合はルーバーやパネルで覆い、直接見えにくくする。	貯水槽等の建築設備類は、ファサードを立ち上げ、外部から直接見えない計画とした。
		建築物の低層部	■ 十分な開口部を設けるなど、親しみのある街並みを演出する。 ■ 商店街等は透視性のあるシャッターなどを用い、賑わいのある楽しい夜間景観を演出する。	低層階は十分な開口面を取り、一部ギャラリーを設けた。また、透視性の高いシャッターを設置し、夜間においても街並みづくりに参加する工夫をしている。
附属施設等	広告物 サイン類	■ 大きさ、色、形状などに配慮し、建築物との一体性を考慮したデザインとする。	建築物と一体性のあるデザインとし、数は最小限にした。	
	屋外照明	■ 商店街等は、賑わいを高める照明や建築物へのライトアップなど、多様な照明方法を用いて効果的な演出を行う。 ■ 住宅街等は落ち着いた色のある照明とする。	商店街側は街並みに合わせた照明装置を選択し、住宅地側において点滅等は控え、地域の安全に寄与する照明を配置した。	
	屋内照明	■ 商店街等は、夜間に歩行者が賑わいや楽しさを感じられるような照明を工夫する。	商店街側ではギャラリーの照明によって賑わいを演出した	

(第2面)

	項目	配慮事項	配慮した内容
建築物	植栽緑化のり面	<ul style="list-style-type: none">■ 既存の樹木・地形などの自然条件を活かす工夫をする。■ 建物等の周辺やのり面は、樹木や草花で緑化を図り、四季の演出をほどこし、潤いを創りだす。	既存の樹木を残し、外構計画を行った。建築物の周囲には広葉樹を配置し、四季による変化が感じられる計画とした。
工作物	広告塔、広告板 高架水槽、擁壁等	<ul style="list-style-type: none">□ 周囲の景観に調和した位置、規模、色彩及びデザインとする。	
	植栽緑化 その他	<ul style="list-style-type: none">□ 既存の樹木・地形などの自然条件を活かす工夫をする。□ 建物等の周辺やのり面は、樹木や草花で緑化を図り、四季の演出をほどこし、潤いを創りだす。	
開発行為		<ul style="list-style-type: none">□ 既存の樹木・地形などの自然条件を活かす工夫をする。□ 建物等の周辺やのり面は、樹木や草花で緑化を図り、四季の演出をほどこし、潤いを創りだす。	